

山口県央商工会所管地域における 観光産業需要動向に関する調査報告書

2021 年 3 月 8 日
山口県央商工会

1. 事業の目的

令和2年度の山口県央商工会所管地域における観光産業需要動向を把握し、地域の現状を確認する。その際、2020年2月に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の、所管地域への影響を特に考慮する。

この結果をもとに、観光関連産業の従事する地域小規模事業者の支援ニーズに沿った事業計画の策定、また実行方法等を決定する参考にする。

2. 調査の方法

新型コロナウイルス感染症の拡大、並びに新型インフルエンザ等対策特措法に基づく緊急事態宣言が発令している現状に鑑み、面談調査は最低限とする。代わって、Googleトレンドによる関心調査の結果を引用するなど、非接触型の調査で得られるデータを活用する。

<調査方法：データの収集>

- ① 観光庁宿泊旅行統計調査（速報）：山口県の観光産業の概況を把握する
- ② Googleトレンド：地域観光関連産業への関心を把握する
- ③ 観光産業関連事業者への景況調査（4者）：事業者のマインドを把握する
- ④ 観光協会へのヒアリング：観光支援の状況を把握し、将来動向の参考にする

3. 調査結果の要約

- ① 2020年の山口県の宿泊者数は前年対比▲34%の大幅な減少であった
GoTo トラベルキャンペーン実施期間中の宿泊者数は前年対比で増加した
- ② 感染リスクの小さい屋外観光スポットは、集客が好転した
イベントの開催自粛は、消費者の関心を遠ざける結果をもたらした
- ③ 観光関連事業者の景況感は2020年第二四半期以降悪化している
観光関連事業者の経営上の課題は人手不足から感染拡大による需要の減退に移った
資金繰りを問題とする事業者が減っている
- ④ コロナ感染症拡大以前からの観光振興の取組みの一部が奏功している
例えば、「サイクル県やまぐち project」

4. 所感

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、山口県央商工会の所管するエリアの観光関連事業者においても大きな影響をもたらした。しかしながら、国内の感染蔓延地域とは異なり、その影響を乗り越えて事業を維持継続している事業者も数多くある。また、観光産業の種類によっては、むしろピンチをチャンスととらえて、発展の機会とした事業者も存在している。

山口県央商工会は、引き続き、新型コロナウイルス感染症で厳しい業況にある事業者支援に万全を期す。また、これと同時に、この機会に事業発展を目指す事業者、事業の再構築を計画している事業者に対しても、伴走者として寄り添いながら、適時適切な支援を提供していく。

5. 調査の結果

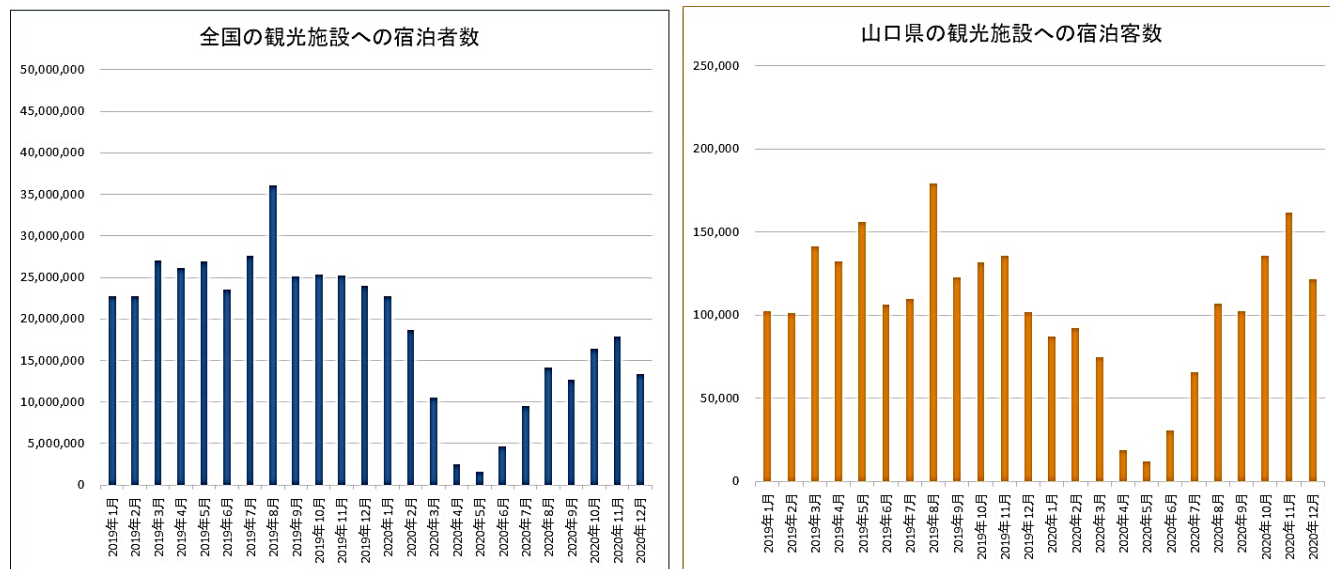
① 観光庁宿泊旅行統計調査（速報）

（出所）観光庁 web サイト > 統計情報・白書 > 統計情報 > 宿泊旅行統計調査

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>

（2021 年 3 月 5 日 閲覧）

1）宿泊者の動向（※観光目的の客が 50%以上の宿泊施設への宿泊者数）



合計の宿泊者数（単位：千人）

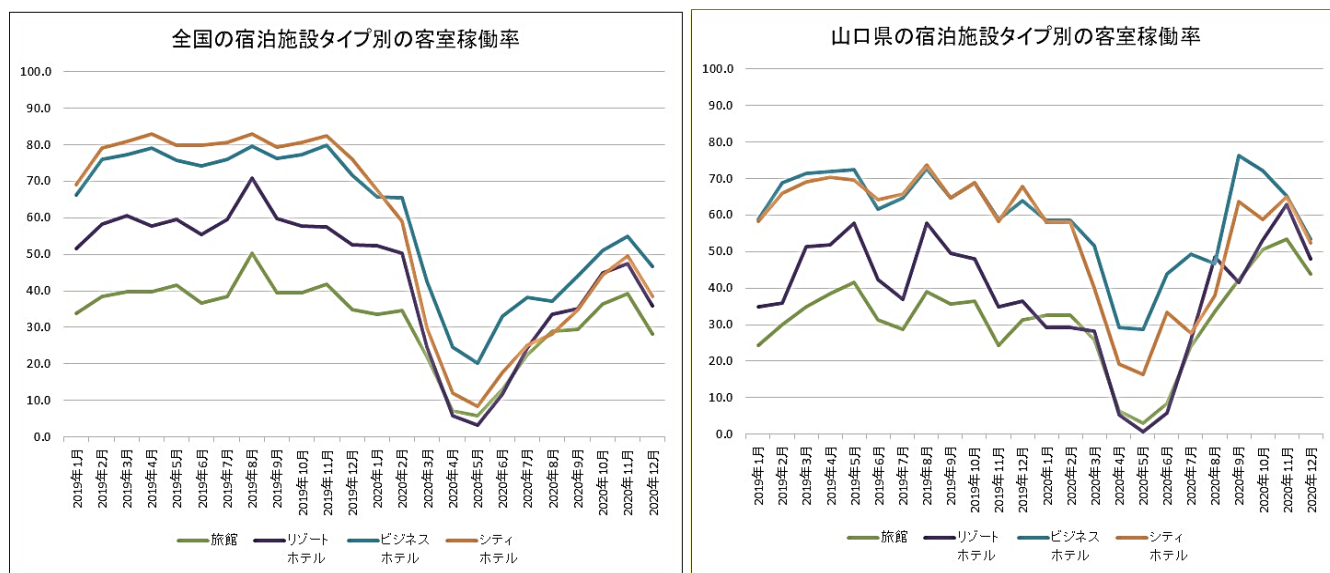
	2019年1月	2019年2月	2019年3月	2019年4月	2019年5月	2019年6月	2019年7月	2019年8月	2019年9月	2019年10月	2019年11月	2019年12月
全国	22,712	22,765	27,083	26,104	26,919	23,511	27,577	36,119	25,160	25,301	25,237	23,935
山口県	158	167	199	214	216	172	177	212	167	188	195	174

	2020年1月	2020年2月	2020年3月	2020年4月	2020年5月	2020年6月	2020年7月	2020年8月	2020年9月	2020年10月	2020年11月	2020年12月
全国	22,727	18,624	10,584	2,459	1,602	4,604	9,486	14,175	12,724	16,373	17,892	13,306
前年同月比	100.1%	81.8%	39.1%	9.4%	6.0%	19.6%	34.4%	39.2%	50.6%	64.7%	70.9%	55.6%
山口県	192	197	169	84	84	121	139	135	212	229	174	162
前年同月比	121.8%	118.3%	84.6%	39.1%	39.1%	70.5%	78.2%	63.7%	126.9%	122.1%	89.1%	93.6%

コロナウイルス感染症の影響によって、4月・5月を底にして宿泊客数が大幅に減少している。この傾向は、全国で顕著である。一方で、山口県では9月・10月には、政府のGoToトラベルキャンペーンの効果があり、前年同月比で宿泊客数が増加している。

全国の観光施設宿泊者数は2020年には約145百万人となり、前年（2019年）の約312百万人から半分以上（▲54%）に減少した。一方で、山口県の2020年の宿泊者数は約1,010千人であり、前年の1,523千人から大きく（▲34%）減少している。

2) 宿泊施設のタイプ別の客室稼働率



合計客室稼働率の比較（宿泊目的・宿泊施設のタイプ不詳も含む）

	2019年1月	2019年2月	2019年3月	2019年4月	2019年5月	2019年6月	2019年7月	2019年8月	2019年9月	2019年10月	2019年11月	2019年12月
全国	54.0	61.9	63.4	65.0	63.2	60.6	63.3	69.4	63.4	63.6	65.6	58.7
山口県	45.9	54.0	57.3	59.6	60.9	50.4	50.6	60.0	53.2	55.9	45.9	50.6

	2020年1月	2020年2月	2020年3月	2020年4月	2020年5月	2020年6月	2020年7月	2020年8月	2020年9月	2020年10月	2020年11月	2020年12月
全国	54.0	52.7	32.4	16.3	12.9	22.8	29.6	31.9	36.1	42.8	46.2	37.7
前年同月比	0.0	-9.2	-31.0	-48.7	-50.3	-37.8	-33.7	-37.5	-27.3	-20.8	-19.4	-21.0
山口県	48.9	48.9	42.1	21.4	20.3	31.9	39.0	40.9	62.4	62.2	58.2	47.8
前年同月比	3.0	-5.1	-15.2	-38.2	-40.6	-18.5	-11.6	-19.1	9.2	6.3	12.3	-2.8

コロナウイルス感染症の影響によって、全国では4月・5月を底にして宿泊施設の稼働率（4月は16.3%・5月は12.9%）は大幅に低下した。その後は政府のGoToトラベルキャンペーンの効果などがあり、全国の宿泊施設の稼働状況は改善してきたが、それでも前年同月の稼働率を超えることはなかった。通年の合計客室稼働率は、2020年は34.6%で前年（2019年）の62.7%から大きく低下した。

一方で、山口県の宿泊施設の合計客室稼働率は2020年に31.6%と低調であったが、前年（2019年）の稼働率54.8%と比較すると、全国平均よりは稼働率低下の割合は小さかった。さらに、GoToトラベルキャンペーンの効果も著しく、9月以降の客室稼働率は60%を超えて好調であった。

宿泊施設のタイプ別で客室稼働率をみると、山口県では旅館・リゾートホテルの客室稼働率が、ビジネスホテル・シティホテルに比較して、大きく変化している。新型コロナウイルス感染者が少ない山口県が、他県からの観光客に支持されたことが想像される。

② Google トレンドによる所管地域内観光地への関心

1) 山口県央商工会所管エリアの主な観光地と観光客の状況

「令和元年 山口県の宿泊者及び観光客の動向（山口県観光スポーツ文化政策課）」より、該当する観光地の状況を確認する。

2019 年 観光地別観光客数（山口市 阿東・秋穂・阿知須エリア）

	観光地・観光対象	県 外	県 内	計	昨年 (2018年)	増減
1	道の駅「きらら あじす」	117,978	471,910	589,888	704,784	-114,896
2	長門峡	80,312	365,868	446,180	251,470	194,710
3	道の駅「あいお」	31,077	163,479	194,556	199,923	-5,367
4	観光農園	22,124	76,079	98,203	138,112	-39,909
5	道の駅「願成就温泉」	20,142	47,004	67,146	53,480	13,666
6	秋穂荘	8,986	29,980	38,966	25,782	13,184
7	S L「やまぐち」号	23,345	11,241	34,586	22,087	12,499
8	徳佐八幡宮しだれ桜	4,820	19,280	24,100	19,970	4,130
9	十種ヶ峰	4,204	14,554	18,758	21,690	-2,932
10	阿知須温泉	9,617	5,126	14,743	17,470	-2,727
11	秋穂八十八ヶ所	721	13,792	14,513	18,332	-3,819
12	きらら浜自然観察公園	106	11,196	11,302	11,578	-276
13	船平山	2,926	8,034	10,960	10,000	960

このエリアで最も観光客を集めたのは、道の駅「きらら あじす」である。前年（2018 年）は、やまぐち花博が開催されていたことから、2019 年の観光客数は 11 万人余り減少した。

観光客数の 2 位は、長門峡である。2019 年は秋の観光シーズンを前に、道の駅「長門峡」がリニューアルオープンしたこともあって、観光客数が大幅に増加した。

以下、道の駅「あいお」、主として阿東地域のリンゴ・梨などの観光農園、道の駅「願成就温泉」（2018 年 4 月にリニューアルオープン）、秋穂荘、S L「やまぐち」号などが、主な観光スポットになる。



2) Google トレンドによる消費者の関心分析

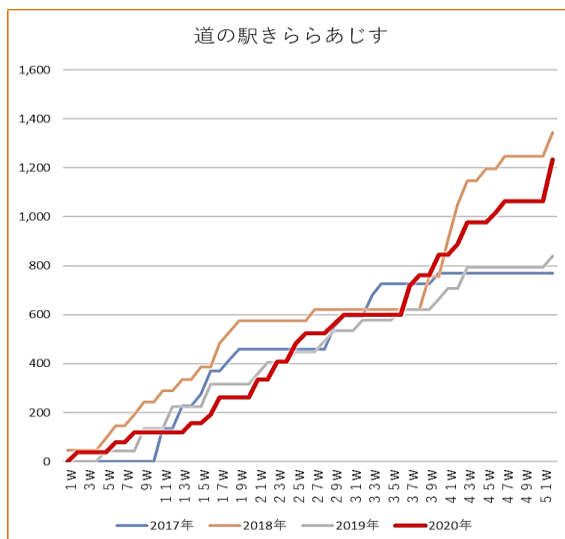
Google トレンドは、キーワードやトピックの検索回数トレンドを確認できる Web ベースのツールで、Google が 2006 年から提供している。山口県央商工会所管エリアの観光地について、Google の検索回数トレンドを 2020 年と過去 3 年で比較して、消費者の関心を分析した。() も検索ワード。

①道の駅きららあじす（きららあじす）

検索トレンドは、第 37 週（9 月初旬）までは過去 4 年間あまり変わらない。

2018 年は、9 月 14 日に道の駅きららあじすが隣接する山口きらら博記念公園で、「やまぐち花博」が開催されたことから、検索トレンドが急上昇している。一方で、11 月 4 日に「やまぐち花博」が終了すると、検索回数が減少していることがわかる。

2020 年も 9 月以降に検索回数が上昇しているのは、コロナ感染症の拡大リスクの小さい身近な訪問先として、道の駅きららあじすへの関心が高まったものと推測される。

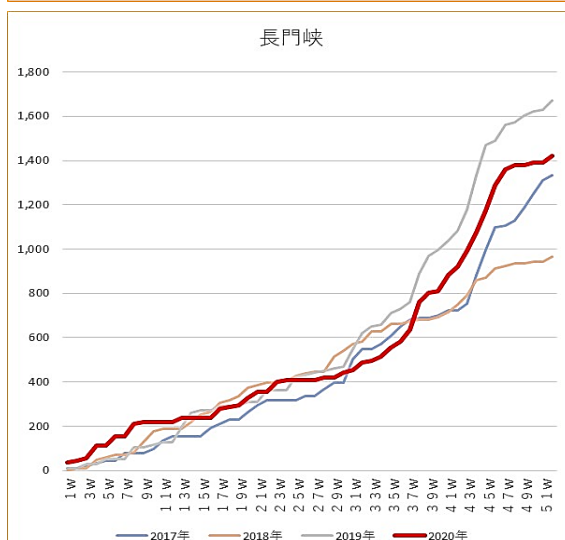


②長門峡（道の駅 長門峡）

検索トレンドは、第 37 週（9 月初旬）までは過去 4 年間でほとんど同じである。紅葉の名所として知られる長門峡は秋以降の観光シーズンに検索回数トレンドがずっと伸びていくことがわかる。

2019 年のトレンドでは第 38 週以降にトレンドが急上昇している。これは、2019 年 9 月 14 日に道の駅 長門峡がリニューアルオープンした影響である。

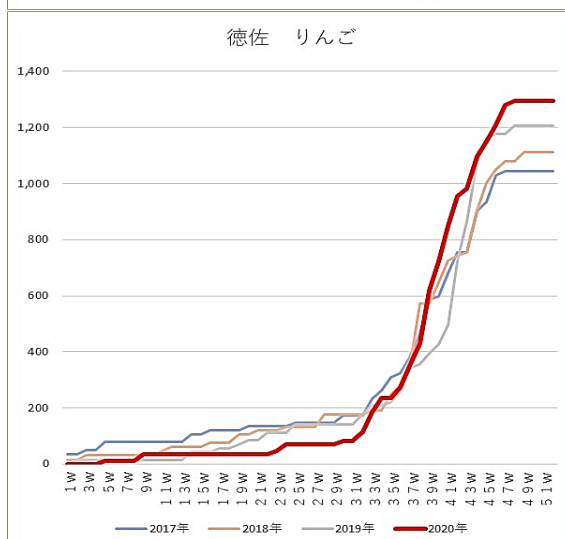
2020 年は、本格的な紅葉シーズンにはいった第 45 週（11 月 3 日の週）をピークにして検索回数トレンドが上昇している。特別なイベントが無くても、感染リスクの少ない自然の景観に関心が集まったものと推測される。



③徳佐りんご（徳佐りんご園・徳佐りんご観光協会）

検索回数トレンドは、第 35 週頃までは 2020 年は若干低調で推移しているが、シーズンに入ると過去 3 年間を超える上昇カーブを描いている。

長門峡などと同様に、感染リスクの少ない身近な娯楽として例年以上の関心を集めたことが推測される。一方で、第 45 週（11 月中旬）を過ぎると、ほとんど検索されなくなり、閑散期対策が課題である。

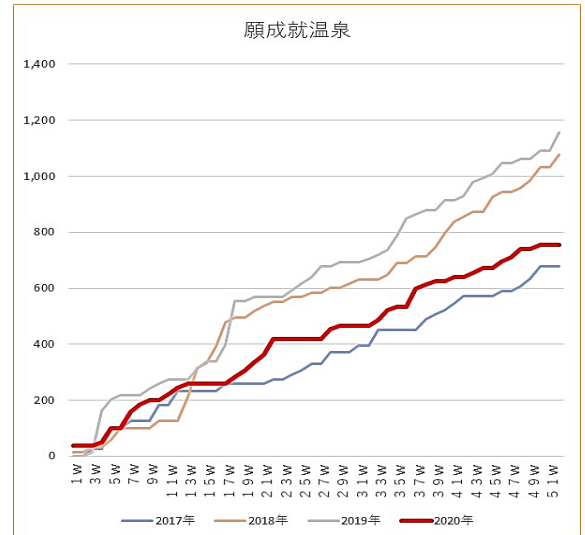


④道の駅 願成就温泉（願成就温泉）

道の駅 願成就温泉は、2018 年 4 月 14 日にリニューアルオープンしたことから、2018 年第 14 週に検索回数がピークとなっている。また、2019 年には 4 月 16 日・17 日にオープン 1 周年記念イベントを開催したことから検索回数が大きく伸びたものと推測される。

2020 年の検索回数トレンドは、コロナ感染症の感染拡大防止のために周年イベントが開催されなかった影響を受けている。さらに、その後のトレンドも道の駅改修以前の 2017 年に近い推移をたどっている。

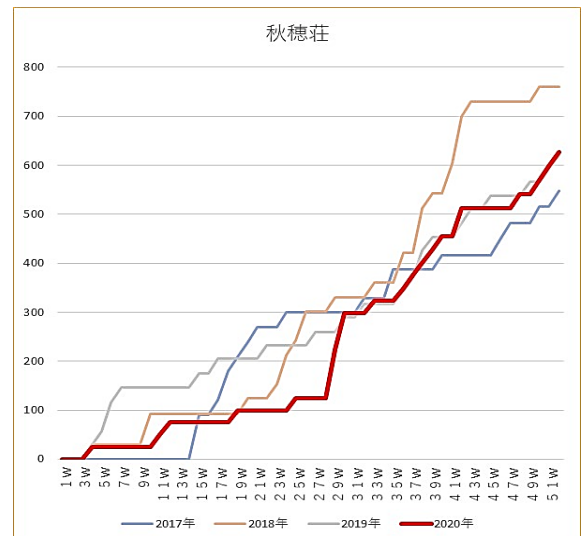
道の駅 願成就温泉は、山口市と島根県津和野町の県市境に位置することから、コロナ感染症によるイベント自粛と同時に旅行客減少の影響を受けていると推測される。



⑤秋穂荘

秋穂荘の 2020 年の検索回数トレンドは、GoTo トラベルキャンペーンの開始が発表された第 27 週（7 月 6 日の週）をピークにして急上昇している。その後も、検索回数が伸びていったが、新型コロナウイルス感染症の感染の再拡大を懸念されるようになった 10 月以降は検索回数が減少した。11 月後半以降に、検索回数トレンドが再び増加したのは、GoTo トラベルキャンペーンの利用制限から休止への転換によるものと推測される。

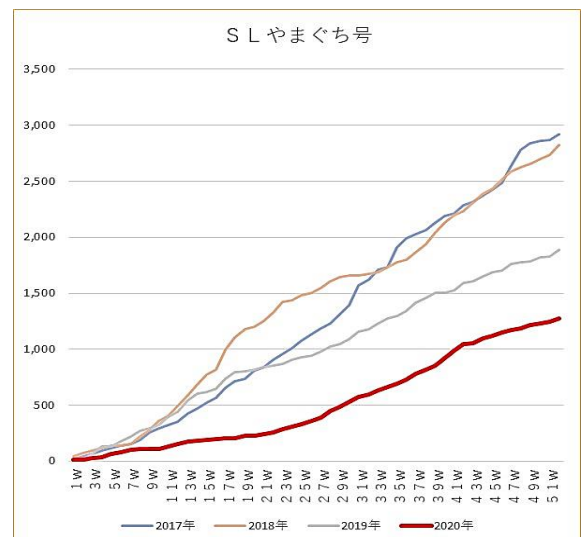
尚、秋穂荘は 2018 年 7 月 1 日にリニューアルオープンしたことから、2018 年の検索回数は特に多くなっている。



⑥S Lやまぐち号（S Lやまぐち）

S Lやまぐち号は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため 2020 年シーズンの運行を休止していた。感染拡大の収束が見えたことから、8 月 1 日より運行を開始したものの 10 月 10 日に牽引する蒸気機関車(貴婦人 C-57 型)が、山中を走行中に故障するトラブルが発生した。2 週間のディーゼル機関車で代行運行の後は D-51 型蒸気機関車で運行となった。

2021 年シーズンは、1 年を通してディーゼル機関車で運行が発表されており、やまぐち観光を牽引していた貴婦人の休止は痛手となりそうである。



3) 観光産業関連事業者への景況調査（4 者）

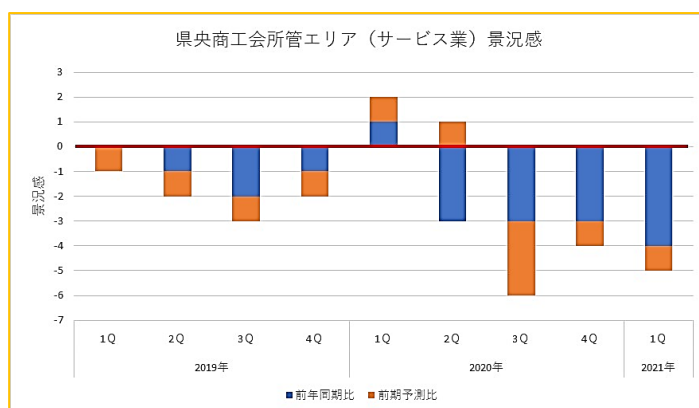
山口県央商工会では、所管エリアの小規模事業者を対象にした景況調査を四半期毎に実施している。そのうち、観光産業に関連がある「サービス業」に属する4者のアンケート結果から、観光産業の現状を推測してみる。

尚、事業者が調査に応じているのは、その四半期の最初の月である。例えば、2020年第1四半期の調査は2020年1月に回答を受けたものである。

①4者の景況感の合計

2019年の景況感としては、第3四半期（回答は2019年7月）を底にマイナスのトレンドが続いていた。

これが、2020年に入るとプラスに転じたが、新型コロナウイルスの拡大が明らかになった2020年第2四半期以降、大きく悪化した。

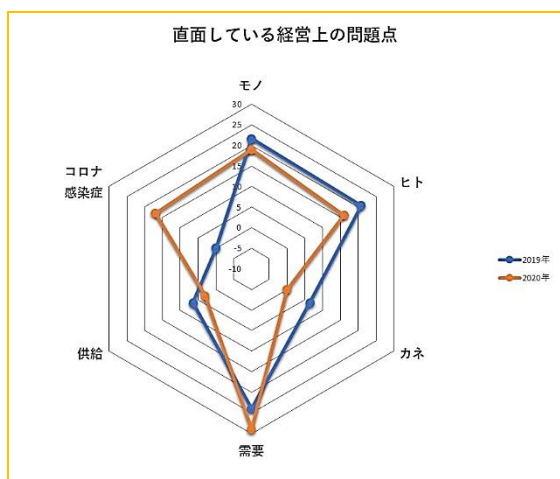
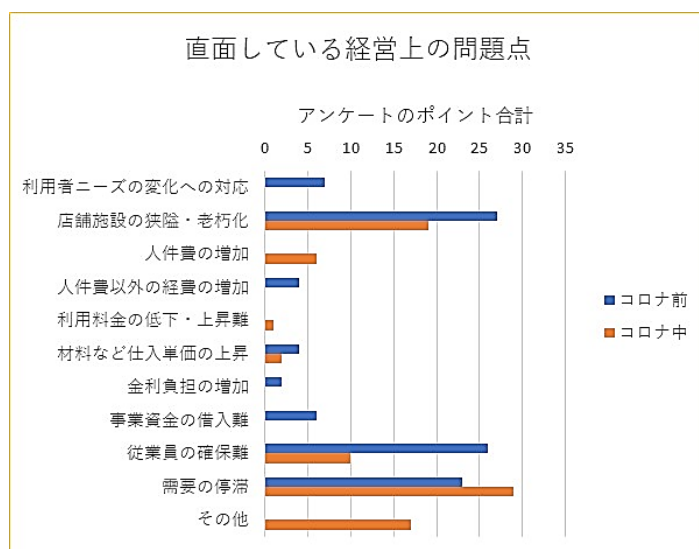


②経営上の問題点の認識

2020年第1四半期までを「コロナ前」、2020年第2四半期以降を「コロナ中」として、経営上の問題点に関するアンケート調査結果をポイントとした。

「コロナ前」では、店舗設備の狭隘・老朽化と従業員の確保難が問題として大きく認識されていた。

「コロナ中」では、「その他」が問題点として回答されている。その他が、新型コロナウイルスの拡大そのものを表していると考えられる。感染症の拡大が、需要の停滞を招くという因果関係が読み取れる。



経営上の問題点をレーダーチャートにしてみると、コロナ前にはなかったコロナ感染症への対応が大きなウェイトを占める。また、需要の停滞は、コロナ前から一貫して継続していたこともうかがえる。

一方で、コロナ前には大きな問題点であった人員の不足は需要の停滞とともに減少しており、資金繰りに関してもコロナ対応緊急融資の活用などで、一定程度の緩和がみられている。

4) 観光協会へのヒアリング

2021年2月25日に、あとう観光協会（NPOあとう）を訪問してお話をうかがった。

《先ず、新型コロナウイルス感染症の影響についてお聞きした》

観光農園や観光農場では、団体客が大きく減少したものの、個人客は逆に増えた。感染症の感染リスクが低い屋外で楽しめることから、これまで訪問したことのない遠方からの来園が増えた。リンゴや梨など、当地の果物は巣ごもり需要もあって人気を集めて、観光シーズンの景況は悪くなかった。また、コロナ感染症の再拡大が報じられた11月下旬は、既にシーズンオフに入っていたことから、マイナスの影響は限定的であった。

同様に、長門峡や十種ヶ峰などの屋外観光地では、感染リスクが少ないことから人気は高まった。ほとんどが個人客であり自家用車での来訪となり、駐車場が不足するなどの支障もあった。また、旅行慣れしていない方が、旅行会社などを通さずに訪問されることから、予期せぬトラブルも発生した。

《次に、期待される地域のイベントについてお聞きした》

「サイクル県やまぐち project」の活動に期待している。

阿東地域は、中山間エリアであるが、圃場整備が進んでいることから農業用の直線道路も多い。道の駅「長門峡」「願成就温泉」を拠点にして、初心者ファミリー向けの短いコース（20 km）から、エキスパート向けの長いコース（90 km）まで、バラエティーに富んだコース設定が可能である。

2020年10月に、初心者向けに「あとう de フォトサイクリング」、中級者向けの「あとう de サイクリング」を連続して企画したところ、人気を博した。今後の活性化に期待がかかる。

山口県の支援を受けながら、隣接地域の観光団体と連携しながら、「サイクリング県やまぐち」をつくっていきたい。

《地域の観光関連産業の課題についてお尋ねした》

地域で飲食店や食品小売り点などの閉店が続いていることが課題である。

阿東地域は観光シーズンが春と秋に限られ、繁閑の差が大きいところである。例年、ゴールデンウィーク明けから梅雨に掛けての時期の集客には苦労がある。更に冬季には積雪も多い地域であることから、一層の閑散期となる。飲食店の経営は、観光シーズンの収益だけでは厳しいことから、地域の人口減少や高齢化によって外食需要が漸減している。

また飲食店の経営者の側も高齢化していること、雇用する従業員の確保も難しいことから、長年営業していた店でも閉じるところが増えている。

Ato de Cycling the 1st
第1回 あとうdeサイクリング

2020年10月18日(日) 締切: 10月11日(日)

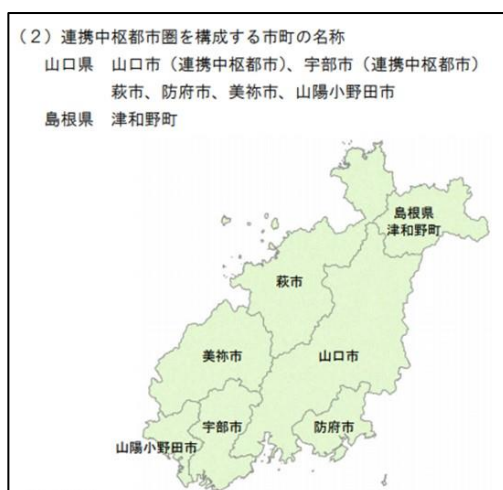
阿東で自然風景を眺めながら、サイクリングをしてみませんか。全長約45kmのコースで、自転車好きの人におすすめです。
(自転車の貸し出し設備2020年も受け付けています。お電話にお問い合わせください。)

※雨天中止
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当日は主催者側の予防対策にのっとり実施いたします。
※イベントの場で撮影した写真は、今後の広報活動等に使用させていただきます。ご了承ください。

Schedule	Outline
11:30 出発	受付開始 11時15分から
12:00 長門峡 山と写真	受付場所: 長門峡(道の駅 長門峡 横町) 参加費: ¥2000 (子ども半額) ※ゼン、道の駅ゼミナライ(海部町)
13:00 りんご園(休憩)	定 員: 15名
13:30 阿東(休憩)	所 在 地: 阿東町(道の駅 阿東 横町)
14:30 主要な休憩所	連絡先: 阿東町観光課 083-956-2525
15:30 到着・解散	FAX: 083-956-2527

阿東地域の活性化には、隣接する島根県津和野町との連携が重要な要素である。そもそも阿東地区の観光資源である、自然・農産物・歴史・文化は、山口市中心部よりも、津和野町との親和性が高い。また、阿東地域には宿泊施設がゲストハウスや民宿がある程度で少ないことも課題となっており、地域での滞在時間が短い。人口 7 千人足らずの町だが観光が経済の基盤となっており、町内に 9 軒の宿泊施設がある津和野町と隣接していることのメリットを生かし切れていない。

この点では、現在進められている「山口県央都市圏域」構想にも期待している。阿東地域で午後のイベントを企画して、津和野町に宿泊してもらうことができれば、地域経済への波及効果は大きい。



《インバウンド需要についての期待をお聞きした》

従前から、阿東地域へ来られる外国人観光客の数は限定的である。地域には宿泊施設が無く、公共交通の利便性も乏しいことから、積極的な誘致活動には向かっていない。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の予防ということで、国境が閉ざされている現状を考えれば、当面は様子見せざるを得ない。

《あったらいいなあ、という観光資源についてお話していただいた》

公共交通の密度が低いことが、観光振興には障害になっている。事実上、自家用車を使ってしか来訪できないこと、外国人観光客はもとより高校生以下の学生、自家用車を持たない都市部からの観光客などの往来が阻害されている。交通拠点である、新山口駅や山口宇部空港を拠点にして、阿東地域で乗り捨て可能なレンタカーのサービスなどがあったらいいなあ、と考えている。

昨年（2020 年）、雪舟が造庭したと伝えられ、国の名勝に指定されている常德寺庭園の改修工事がおこなわれた。しかし、簡単な案内板がある程度で、訪れる人もほとんどいない。隣接する萩市吉部の雲林寺が猫寺として俄かに有名になったという好事例も参考にして、来訪者を増やす工夫をしていきたい。

《地域の観光の将来への希望を教えてください》

現在の観光客の中心は家族連れ・ファミリー層である。将来のことを考えれば、家族以外のグループ、友人同士や職域や地域のグループが訪れるようにしていきたい。

サイクリングイベントなどは、そのきっかけになる。この他、購買意欲を掻き立てるような名物・名産品の企画、地域で食べてみたい軽食などの開発も検討していきたい。

地域には、使われていない施設や空き家なども数多くある。使用の目処が無いものは廃止し、使用できるものものは改修して使用することが考えられる。山口市や萩市の有名な観光地を目的とする観光客に、阿東地域まで足を延ばしてもらうことは難しい。阿東地域を目的地とした仕掛けがどうしても必要になり、今後の大きな課題である。

参照 URL

- 1) 国土交通省-観光庁 <https://www.mlit.go.jp/kankocho/>
- 2) 山口県の宿泊者及び観光客の動向について(山口県観光政策課)
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16200/doutai/doutaityousa.html>
- 3) あとう観光協会 <https://ato-kankou.org/>
- 4) サイクル県やまぐち project <http://cycleken-yamaguchi.com/>



山口県央商工会

<http://www.yama-kenoh-shokokai.jp/>

本所 / 阿知須支所 山口県山口市阿知須 4233-31

TEL: 0836-65-2129 / FAX: 0836-65-2127

秋穂支所 山口県山口市秋穂東 6570

TEL: 083-984-2738 / FAX: 083-984-5638

阿東支所 山口県山口市阿東徳佐下 25-1

TEL: 083-956-0032 / FAX: 083-957-0754